日本初の映画上映 130 年記念

常設ミニ展示

尼崎と映画

あまがさきは映画館の町だった！

2026 09/25(金)～12/06(日)

神戸にて日本初の活動写真(キネトスコープ)が 1896(明治 29)年 11 月 25 日に一般公開され、今年で 130 年となります。無声からトーキー、モノクロからカラー、フィルムからデジタルへ。映像・音響等の技術が大きく進化し、自宅のテレビやＰＣ、スマートフォン等でも手軽に視聴できる時代となりましたが、迫力ある大画面と音を、見知らぬ人同士が並んで泣いたり笑ったりいっしょに楽しめる映画館での体験は、今なお特別なもの。多彩なエンタテイメントのひとつとして、映画は進化を続けています。

尼崎では 1920(大正 9)年に初の常設映画館「栄倶楽部」が開設。戦中の軍需景気や戦災での増減を経て、戦後復興から経済成長期に労働者の最大の娯楽として急増し、1958(昭和 33)年には、県下隣接他市と比べても群を抜く 37 館もの映画館が存在しました。やがてブームの収束と時代の流れに伴い館数は減少に転じ、現在では 3 館となりましたが、そのひとつ「塚口サンサン劇場」は独自の取り組みで全国の映画ファンから注目される存在となっています。本展では尼崎市立歴史博物館・あまがさきアーカイブズ所蔵の貴重な戦前～昭和時代の映画館の写真、ポスターやちらしなどを紹介し、尼崎の映画館黄金時代をふりかえります。



栄倶楽部：1936(昭 11)年頃

また、下町情緒や古くからの工場風景を活かしたロケ地として、尼崎はさまざまな物語の舞台となり映画に登場してきました。尼崎ゆかりの作家や映画人、その映画世界を味わう原作図書、雑誌・新聞記事などを紹介します。また映画評論やガイドブック、エッセイ、映画がテーマの小説など貸出可能な本も集めました。ささやかな展示ですが、どうぞご覧ください。

写真提供：尼崎市立歴史博物館・あまがさきアーカイブズ



塚口東映：1975(昭 50)年頃

尼崎市立中央図書館

兵庫県尼崎市北城内２７
TEL：06-6481-5244
FAX：06-6481-2142
火-土：9：00－20：00／日・祝：9：00－17：15
休館日：月(祝日の場合・火)・10/29, 11/26(木)



中央図書館
ホームページ



尼崎市立中央図書館

常設ミニ展示企画

「尼崎と映画と図書館」

上映会と特別講演会

2026 AUTUMN

対 象●どなたでも参加OK

参加費●無料

映画上映会

事前予約不要：当日先着６０名
開場：２０分前　　どなたでも、お気軽にご参加ください。

忍たま乱太郎 劇場版
（2011/100 分）

9月26日(土)11:00

監督：三池崇史
出演：加藤清史郎、平幹二朗
尼崎が誇る尼子騒兵衛先生作国民的忍者マンガの、満を持して製作された実写版。脇を固める豪華なキャストにも注目。

太陽の子 てだのふあ
（1980/140 分）

10 月 30 日(金)13:30

監督：浦山桐郎
出演：原田晴美、河原崎長一郎
沖縄出身の夫婦と小学生の娘ふうちゃんが営む神戸の食堂に集まる人々の暖かい交流と沖縄戦の傷あとを描く。尼崎市戸ノ内でも撮影がおこなわれた。

天使のいる図書館
（2017/108 分）

11 月 20 日(金)14:00

監督：ウエダアツシ
出演：小芝風花、横浜流星
新人図書館司書が地元住民たちとの交流を通して地域の文化や歴史に触れ、成長していく姿を描いたハートフルドラマ。

特別講演会

事前予約：先着６０名　予約開始:11 月５日(木)９時～
お申込みは右の専用フォーム(開始日以降有効)から、または直接、中央図書館窓口まで

「あまがさき映画館史 ―尼崎は映画館の町だった！」

講師：西村 豪
(尼崎市立歴史博物館・認証アーキビスト)

12 月 5 日(土)14:00-15:30

昭和 30 年代の最盛期には 37 館にものぼる活況を呈した尼崎市内における映画館・劇場の歴史を、尼崎市立歴史博物館で好評を博した企画展「戦後尼崎の映画・演劇」にて公開された多彩な資料や写真、それらをもとに進めた研究の成果をうかがいます。
また、戦後まもなくの尼崎で撮影された**映画「弥次喜多尼崎道中記」**の貴重な映像などもまじえ、尼崎と映画のかかわりについてお話しいただきます。